

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名 なないろKids2nd

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		改善すべき点を話し合いよりスペースを確保できるよう配置換えをしたり工夫されている。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		人員基準を順守しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	運動や活動の場には段差のない作りになっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		今後も定期的に話し合いの場を設け個々の目標と取り組みを話し合います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		スタッフ全員、目を通す様にしています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページにて公開します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%		施設の見学等、ご希望あれば受け入れています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		年間で研修スケジュールを組んでいます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		保護者の方からのニーズと本人の困り事客観的に見た改善点を元に分析をしています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%		利用者調査書を用意して情報は毎年更新しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		チームで相談したうえでプログラムは決めています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		偏らないように話し合い取り決めている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		それぞれの課題に応じた活動を提供できるようにしています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		成長に対して必要なものを提供できるように心がけています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		役割分担を社員全員が目に見える形で掲示し確認をしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		支援の振り返り、打ち合わせを共有し現場で生かせるように努めています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		振り返りを交えて記録を付けています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		個々の困り事や課題を見直し設定している	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		それぞれの領域に関係した活動を提供します。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	それぞれの社員から見た子どもの状況を共有しつつ取りまとめている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	即座に連絡が取れるように予め携帯に必要な連絡先を登録しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	75%	25%	必要に応じて情報提供頂いています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	保護者の方々の許可のもと情報提供には応じさせて頂いています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	低年齢向けな事もありあまり機会がないですが、次に活かせるように情報提供させて頂ければと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	タイミング次第ですが各所の研修に参加させて頂いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%	現在は特に需要は聞いていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%	協議会への参加は今のところありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎の際や公式ラインを活用しています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	25%	ペアレントトレーニングという形ではありませんが、適宜相談対応を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時にお伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談しやすい環境を心掛けます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	保護者会という形かは未定ですが、来年度も情報交換の場を持てればと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	迅速かつ適切に対応ができるように聞き取る内容を社内で共有している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	50%	50%	公式ホームページにてブログやインスタグラムを公開しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	不要になった個人情報は適切に速やかに処理をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	必要に応じて視覚的な情報も交えてお伝えしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	50%	50%	現状は特に機会を持っていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		それぞれ策定しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		年間スケジュールにて必要な訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止委員会や研修など取り入れています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		今のところ身体拘束は行わない様に対応していますが、必要があればルールを守ったうえで対応になります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%		保護者の方々から情報提供頂いています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		気付いた時に書けるようにしています。